

「書くこと」の大切さ

校長 林 久徳

「あけまして おめでとうございます」平成28年が始まりました。今年もよろしくお願いします。静原小学校では冬休みの学習会で例年書き初めを行っています。今年多くの子どもたちが参加してくれました。書き初めというと、年が明けて初めて毛筆で書や絵をかく行事で、元は旧暦の1月2日に行われていました。吉書(きしょ)、試筆(しひつ)、初硯(はつすずり)、筆始(ふではじめ)などともいいうそうです。書き初めの意味の一つは、文字の上達を願うものです。また、1年の仕事始めとして書き初めをし、その年の心構えや抱負を書き記すと、何事もうまくいくと言われています。



学校では、毎月行っている朝会などで、子どもたちの知っている人の子どもの頃の作文を時々紹介しています。冬休み前にはスケートの羽生結弦選手の小学校6年生の時の作文を紹介しました。今までに、イチロー選手や本田圭佑選手など多くの作文を紹介しています。これは、本校が取り組むキャリア教育の一環で、子どもの良く知っている人を紹介し、その人の生き方を子どもたちがキャリアモデルとして自分の生き方の参考にしたり、自分の考え方を取り入れたりしてほしいと願っているからです。これらの作文の共通点は、小さいころから自分の目標をもち、その目標に向かって具体的に自分なりのステップを記し努力しているところです。そして、その目標を達成してきています。これは、特別なすごい人だからできたのではなく、しっかりと目標を書き、書くことで自分に言い聞かせているからこそ実践し、目標が達成できた



と思うのです。書き初めだけでなく、日記や日々の学習のふりかえりなども同じことです。今日よりも明日、○年生の間にきっと、卒業までには、○才までには・・・というように目標を明確にしておくと、ただなんとなく思っているだけよりも確実に実現する可能性が高くなると言われています。学校でも授業のめあてや振り返りをしっかりと書くことに取り組んでいます。ご家庭でも日記や目標、夢などをぜひ書き記すことに取り組んでみてください。今年が子どもたちにとって素敵な1年になりますように。

しめ縄づくり

今年も、地域の方々にお世話になり、しめ縄づくりをしました。事前に藁掃除をして、作業しやすいように自分の藁を各自が事前に準備しました。十分に準備をしていると、しめ縄を作るという意識も高まり、主体的に、目的意識を持ち、



取り組む姿がたくさん見られました。地域の方々に教えていただけでなく、今の自分の評価も自分でできていて、高学年になると今年は、自分だけの力で2つ作れたとか、低学年では、来年は、自分だけの力でやり遂げるようにしたいという発言も感想として言う姿もありました。しっかりと教えていただき、手元を見るとか、自分でもやってみると目的意識を持って取り組めたと思います。



お茶の体験教室

一保堂より講師をお迎えし、お茶についての体験学習をしました。お茶を点てる、お茶を入れる。2通りのお茶を味わうことができました。苦さや甘さ、香りも味わっていました。点て方、入れ方の基本を教えていただき、実践しました。自分や自分たちで飲むために入れていましたが、新年会では、相手意識をもち、おいしくいただいてもらうお茶を出すことができるでしょう。



お茶の種類、製法の違いやお茶の効果、お茶の葉の開いていく様子やおいしさをどのように閉じ込めて開いていくか等具体的に写真や、葉っぱの模型を使って教えていただきました。児童の感想から、「うまみ」「あまさ」「かおり」などの言葉が出てくるようになりました。お茶を家庭に帰つても実践していくことでしょう。また、お茶について分かったことも家庭で話せるといいと思います。おいしくいただけたので、何度も自分でお茶を点てる姿もありました。



つけものづくり

大根を収穫するために、土の準備、種まき、間引き、草ひきなどの世話をし、大きくなつたのを収穫しました。



次は、土を落として洗い、漬物用に準備しました。

地域の方に、お世話になり、つけもの漬けを教えていただきました。きれいに洗ってある大根のへたを切り落としてつけるための準備をしました。大きさ、形が違うので、どれをどのようにつめていくか教えていただきながら、少しづつ交代しながら進めました。



石窯パンつくり教室

ミレットさんに行き、石窯パン作り教室を行いました。小麦をすりつぶす所から教えていただき、材料をまぜて、パンをこねたり、形を作ったりしました。ていねいに教えていただいたこともあり、とても楽しみながらパンを作ることができました。自分たちで作ったパンの味は、とてもおいしく、みんなおかわりをしていました。最後には、「作り方を教えてもらったので、家でも作りたいです」といった感想を発表している子もいました。楽しみながら、貴重な体験をさせていただくことができました。

自分がやりたいだけでなく、人のことを思って自然に活動ができる場面がありました。下級生がこねやすいように、ボウルを押さえる姿や片付けや掃除を進んとする姿が見られました。



ワックスがけ・運動場清掃～やきいもへ



自主学習に来ていた児童が、机上の学習以外にも特別教室のワックスがけや運動場に落ちている杉葉を集め焼き芋をするなどの活動もしていました。ワックスがけの方法や手順、焼き芋の手順、うまく燃やすにはどうするか、火のつけ方など体験を通して分かってくるものです。楽しみながらも、一生懸命活動していました。

床を順番に効率よく、塗り残しのないようにワックスをかけるのには、床の線を目印に順番に後ろに下がりながら、ワックスをかけます。なんとなくやると、四角い教室を丸くワックスがけをしたり、塗り残し部分が出たりします。床全部を塗ることや最後に教室から出る時に、塗りたての所を踏まずに出られるようにするにはどうすればいいかも考えながらできました。

マッチをする活動もしました。杉葉は、運動場に落ちているのを集めたばかりで、少々湿っていたので、燃やすのに少し苦労しましたが、ようやく、火がつくと、掃除して集めた杉葉を全部燃やすこともできました。石焼きのおいしい焼き芋ができました。運動場もきれいになりました。



書初め教室

画仙紙を床に広げて、書初めにチャレンジしました。高学年は、毎年のようにやってきているので、

慣れた手つきで、字配りよく作成していました。低

学年は、筆で書くことは、学校の授業ではやっていないので、基本的な筆の扱い方、墨の扱い方、紙の始末など確認して、進めました。気持ちよく、書初めで、スタートがきれました。



スケート教室

児童の楽しみにしているスケート教室です。手すりに頼りながら滑る姿、バランスを何度もくずしてこけて



も立ち上がる姿、テレビで見たことのある技に近づこうとチャレンジする姿、何周回るか決めてすべるなど自分の力量と相談しながら、めあて



に向かって頑張っていました。スケートを通して、会話も弾んでいました。

静原小学校研究発表会(授業参観)

平成28年1月22日(金)14時～14時45分

研究発表会の公開授業を授業参観と兼ねて実施します。この研究発表会は、『確かな個の見取りを核とした自覚的実行力の育成～自ら学び、自ら行動していこうとする子どもを育む教育活動の工夫～』をテーマにしています。キャリア教育を通して、「自覚的実行力の育成」をめざし、教科学習や総合的な学習の時間をはじめ学校生活のあらゆる場で取組を進めてまいりました。

多くの左京北支部の教職員が、その取組の発表としての公開授業の参観に来られます。地域、保護者の皆様方もぜひ、ご来校いただきますようご案内申しあげます